

静岡県教育委員会
教育広報紙

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

令和5年(2023年)
10月5日
木曜日
第264号モンゴルで過ごした、
人生で一番アツイ6日間8月7日(月)から8月12日(土)まで、20人の県内
高校生がモンゴル国・ドルノゴビ県を訪問し、現地の
高校生との交流や異文化体験をしました。訪問は4
年ぶり、7回目。7期生の活動の様子を紹介します!

交流日程

8月7日(月)

◇ 航空機で日本からモンゴルへ

8月8日(火)

◇ ウランバートルから
ドルノゴビへ450kmのバス移動
◇ 遊園地で現地高校生と交流

8月9日(水)

◇ 第6学校での交流
◇ 伝統スポーツ体験
◇ キャンプファイヤー

8月10日(木)

◇ 遊牧民体験
◇ ハマリーン・ヒーデ寺院見学
◇ 第5学校視察
◇ 寝台列車でウランバートルへ移動

8月11日(金)

◇ モンゴル国教育・科学省訪問
◇ 在モンゴル国日本大使館訪問
◇ チンギスハーン博物館見学

8月12日(土)

◇ 航空機でモンゴルから日本へ

モンゴルの食事は羊肉が中心。
ホルホグ(羊肉の石焼き)は、草原で
みんなで輪になっていただきました。

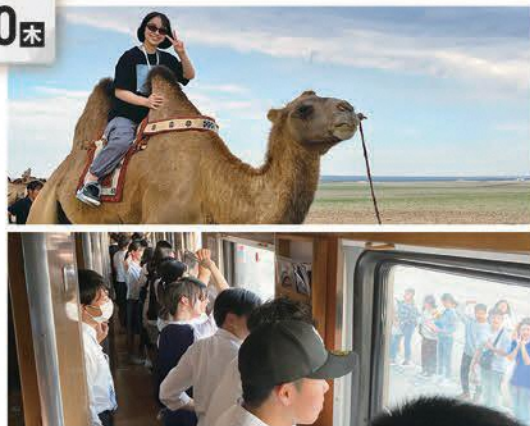
8/8火

県境のゲートで現地高校生の
熱い歓迎を受け、ドルノゴビ
県へ。
サプライズで招待してい
ただいた遊園地では、両国の高校
生が互いに積極的に話しかけ、
交流する様子が見られました。

8/9水

第6学校での交流では
あやとりや書道、空手や浴
衣の着付け体験などで日
本文化を紹介しました。
伝統スポーツ体験では、
モンゴル相撲やアーチェ
リーなどに挑戦しました。
夜は草原の真ん中で火
を囲み、歌を歌って交流し
ました。

8/10木

遊牧民のゲルを訪ね、乗ラ
クダや乗馬、山羊の乳搾りを
体験しました。
第5学校ではふじのくに高
校生文庫を寄贈。おすすめ
の1冊に英語の紹介文を添え
てプレゼントしました。
ドルノゴビ県を発つ時に
は、駅で3日間ともに過ごし
たモンゴルの高校生と涙のお
別れ。寝台列車でウランバー
トルへ向かいました。

8/11金

モンゴル国教育・科学
省ではモンゴルの歌「ハ
ローン・エルゲン・ノタグ
(熱き血潮の故郷)」を披
露しました。
在モンゴル国日本大使
館では静岡出身の菊間
次席に両国を繋ぐ仕事の
様子などを伺いました。モンゴル国最後の
夜に解団式を行いま
した。涙混じりに思い
を語り合いました。

- 生徒の声
- 自分がどんなに狭い世界で生きていたんだろうと気付いた。
 - バスケットを通して、言葉の通じないモンゴルの高校生とふれあうことができ、スポーツの力を感じた。
 - モンゴルの高校生と別れるとき、まさか自分が泣くと思わなかった。

引率者カリ

20人の高校生が旅の途中のトラブル
を笑顔で乗り越え、現地の高校生と交流
する姿はとても頼もしかったです。この
経験や出会いを大切にしたいと思います。
10月下旬にはモンゴルの高校生が来日
します。高校生同士の充実した交流に向
けて準備を進めていきます!交流の様子は X
(旧 Twitter) の教
育委員会公式アカ
ウントでも発信して
います。

モンゴル高校生交流

検索

8月29日(火)に訪問団の代表生徒3人が教育長を表
敬訪問しました。当日は、スライドを使って写真を交えな
がら説明し、「人との出会いの素晴らしさを知り、人生の
幅が広がった」など、実際
に現地に滞在することでしか
得られない貴重な経験をし
たことを報告しました。

【教育政策課】

特別支援学級の子どもの自立に向けての支援

静岡市立久保小学校 教諭 大野 真里奈

はじめに

近年、各学校に特別支援学級が新設されています。支援級といっても、知的・情緒・肢体などがあり、さらに一人一人多種多様な特性をもっています。その分、担任は、その子に合った支援が必要になります。私は、前任校で出会った一人の児童と1年間関わった中で、自分自身の支援や手立てについて深く考え、学ぶことができました。



子どもと同じ目線で関わる

重視した3つのこと

(1) 児童の特性理解

「気になる子」というのは、ついマイナスな面ばかりが目に入りがちです。しかし、見方を変えると「気になる子」は自分でもそのことを気にしています。苦手・不安なことを補うことが、教員の役割だと思います。今回は、「教室から出てしまう」という課題から、特性に応じてクールダウン場所を示す『意思表示ボックス』を子どもと共に作成しました。教員側だけの考えで作るのではなく、「どの大きさの箱がいいかな?」「入れ口の幅は、小さい方がいい?」などと相談し、子どもの意思をくみ取りました。

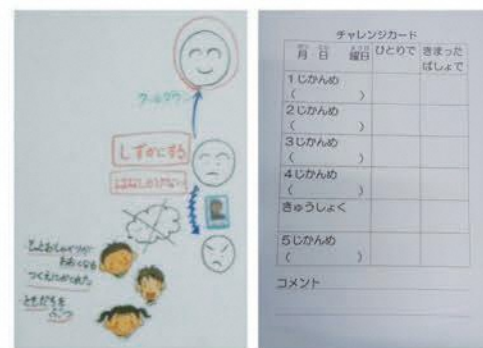


一緒に作った「意思表示ボックス」

(2) 段階を踏んだ手立て・指導

『意思表示ボックス』の次に、トークン表の活用も始めました。毎日の目標は、2つ。できた項目にシールを貼り、ファイリングしていきました。開始当初は、

空白が目立っていた表も約2ヶ月後に初めてマスが埋まり、二人で喜びを分かち合いました。指導にあたっては、口頭で伝えるだけでなく、ノートやホワイトボードを用いて絵や言葉で記し視覚化しました。



視覚化での生徒指導

トークン表

(3) 保護者・職員間の連携

前期は、常に保護者が学校に同行していました。休み時間には、子どもの様子や学校の体制なども保護者に直接伝えていました。それだけでなく、連絡帳でのやりとりも欠かさず行っていました。1年間に使用した連絡帳は4冊。これらが、保護者との信頼関係を築くものとなったと思います。また、毎週行われる打ち合わせで、職員間でも現在の子どもの実態・手立て・配慮すべきことなども共有し、学校全体で見守る体制づくりを確立しました。

おわりに

全ての子に言えることですが、目標を達成するためには長期における指導計画を立て、そのためのスモールステップとして短期の指導計画の見通しを立てることが有効です。これは、正に学校で作成している個別の支援計画(サポートファイル)そのものです。この支援計画の在り方を大切にしていくとともに、今後も出会う子ども達の特性をよく見極め、寄り添いながら指導・支援していきたいと思っています。

生徒が自己の成長を実感できる指導と評価の一体化を目指して

湖西市立白須賀中学校 教諭 石濱 麻衣

イメージマップを活用した理科授業における実践を紹介します。生徒が理科の見方・考え方の広がりや深まりを実感するとともに、教員がそれを適切に評価し、指導の改善につなげることをねらいとしています。



授業での演示実験

イメージマップの段階的な記入

イメージマップでは、単元の内容に関する用語から連想する自分の知識を洗い出し、それらをつなぐことで思考を整理します。まずは、単元導入時に既知の知識を鉛筆で記入し、各章の学習後に、学んで得た新たな知識を色ペンで追記します。

参考:「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
【中学校 理科】(国立教育政策研究所)

イメージマップを評価に活用

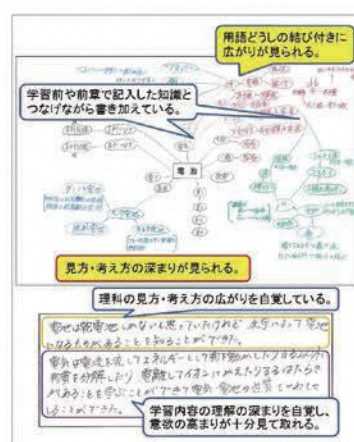
(1) 教員の評価と授業改善

生徒が作成したイメージマップをもとに、中間評価を行います。「用語の量」「用語の内容や用語の関係」「振り返りの記述内容」の3点で評価し、授業改善につなげます。教員は、学習前と後の生徒の見方・考

え方の変容を見取ることで、それを評価につなげることができました。

(2) 生徒の自己評価

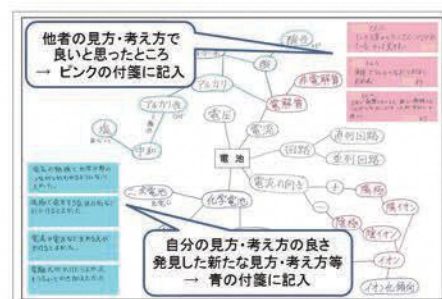
単元の最後に、完成したイメージマップで思考の広がりを実感させながら、単元の学習を通して見方・考え方がどのように広がったり、深まったりしたか記述します。授業が進むにつれてイメージマップに記入する用語が増えていくことで、生徒は見方・考え方の広がりや深まりを実感することができました。



イメージマップから見取る生徒の成長

(3) 生徒同士の相互評価

作成したイメージマップを使って、生徒同士の交流を行います。相互評価を通して、「電気の学習と化学分野のつながりがわかるようになってよかった」など、自分の見方・考え方の良さに気付くとともに、今後の学習への取り組みに生かしていこうという姿が見られました。また、友達から自分のイメージマップの良かったところを付箋に記入して貼ってもらうことで、自分の取り組みに自信をもつことができ、次への学習意欲につなげることができました。



生徒同士の相互評価



育児に伴う休暇等の取得促進について



※Webで「静岡県教育委員会の総務」と検索。県所属はNES「教委版休暇制度DB」に掲載

県教育委員会では、育児に関する休暇・休業の取得を推進しています。「育児プランシート」※などを参考に、**早めに管理職と相談の上、積極的に休暇・休業制度を活用しましょう。**管理職や同僚の皆さんも、育児参加へのご理解・ご支援をお願いします。

項目	令和3年度実績	令和4年度実績	数値目標
男性教職員の育児参加休暇等 (配偶者出産休暇・育児参加休暇)の取得率	82.2% (80.3%)	83.3% (83.5%)	100%
男性教職員の育児休業の取得率	5.7% (12.1%)	12.8% (20.6%)	— (13%)

(カッコ内は県立学校及び教委事務局)

私の育児休業生活「短くも濃密な時間」

静岡県立浜松工業高等学校 小林 健太 教諭

私は1か月程度の育児休業を取得しました。

第2子の妊娠が分かってから、出産後の生活について妻と話し合いました。長女出産の際は妻が里帰りしましたが、今回は長女の保育園や習い事もあるため里帰りはせず、自宅で過ごすことにしました。妻は私にもう少し長い期間育児を取得するよう希望していましたが、私には職場への申し訳なさや所得減少による金銭的な不安があり、1か月で了承してもらいました。

育児休業の1か月はあっという間で、非常に濃密な時間でした。長女の際は週末にしか会えませんでした。今回は次女が日々成長していく様子を身近で見ることができました。また長女と過ごす時間も増え、遊びや習い事に一生懸命な姿も多く見ることができ、非常に幸せな時間でした。

今回の休業で最も大変だったのは長女への対応でした。普段から「おかあさん大好き！」な娘ですが、妻

の入院の際は、母親と離れて寝るのも初めてで、新型コロナウイルス感染症の影響で面会もできず、かなりさみしい思いをしていました。退院後も、家事の面では妻を休ませることができましたが、娘の「お母さんモード」には対抗できませんでした。現在、長女は次女を可愛がり良いお姉ちゃんですが、甘えたい時も多いので上の子のケアの必要性を実感しています。

私は、職場の先生方の協力もあり、スムーズに引継ぎを行うことができたため、不安なく職場を離れることができました。休業が入試期間に被ってしまいましたが、温かく送り出してくださいました。御協力いただきました先生方には、この場をお借りして心より感謝申し上げます。



私の育児休業生活「全ての先生が幸せになる育休になってほしい」

磐田市立向陽中学校 大根 善生 教諭

望んでいた第一子の誕生に伴い、約2週間の育児休業を取得しました。かねてより育児は夫婦でしたいという強い思いがあり、退院後の妻を日中にサポートできる身近な人がいなかったこともあり取得を決意しました。

配偶者出産休暇と2度の産後ババ育休で、分割して取得しました。保健体育科の担当として、体育の授業がゼロになり、生徒の運動の機会が減ることを避けたかったため、分割取得の合間に授業を行いました。また、勤務先が小規模校ということもあり、どうしても他の先生に負担が掛かってしまうことが分かっていたので、極力休む期間が長くないようにと考えていました。

家事と慣れない育児は一つ一つに時間が掛かりました。娘は3時間おきに授乳の生活です。睡眠時間の激減、急に変った生活リズム、肉体的にも精神的にも大変でした。しかし、産後不安定な心持ちになっていた妻に「家にいてくれるだけで不安が減る、ありがとう」と言ってもらえたり、ミルクを一生懸命飲む娘の姿を見ることがで

きたりして、やはり育休を取得して良かったと思えました。

育休取得の相談は、妻の妊娠が分かった後すぐに校長先生にしました。今後取得を考えられている先生は、取得期間以外に、他の職員に伝えるタイミング、育休中の授業は代替を頼むのか授業の入れ替えで行うのかを、早めに相談しておくと思いいます。出産は予定どおりいかないのが難しいところですが、それでも、周りで支えてくださる先生がいたからこそ育休を取得できました。一方、まだ周囲の理解が得られていないと感じた部分も正直ありました。これから、先生が気持ちよく育休を取得し、それを支えてくださる先生も快く働ける雰囲気、どの学校にも広がってほしいと願っています。



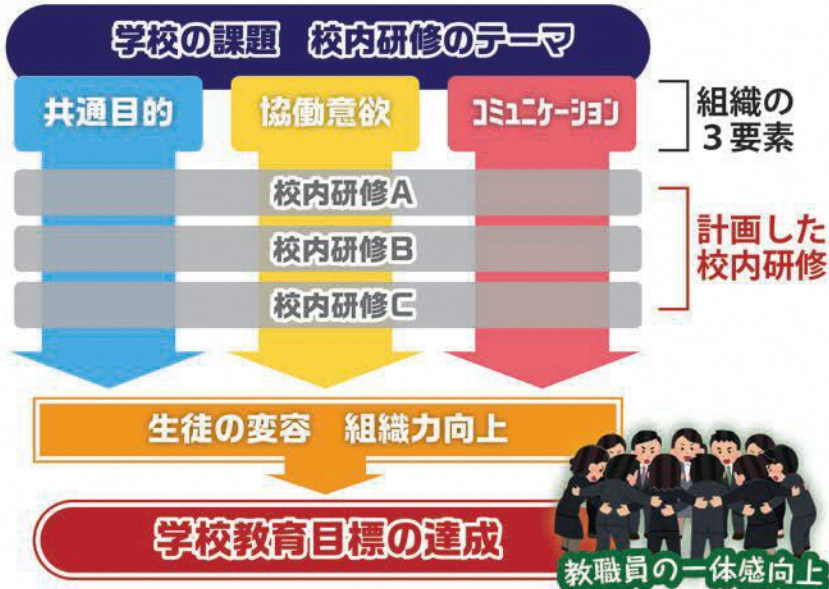
【教育総務課】



「教職員の一体感」を高める校内研修

令和4年度の長期研修員研修報告「高等学校における教職員の一体感を高める校内研修の考案と検証」から、校内研修を効果的に実施するポイントを紹介し、この研究では、学校の組織力向上を目指した校内研修モデルを作成し、その効果を検証しました。

◆組織の3要素(バーナード)を意識した校内研修モデル



●教職員全体で共通の目的をもつ

共通のテーマに関連付けた内容で研修を実施することにより、共通の話題が生まれ、目的が共有されやすくなります。学校教育目標や目指す姿を共有し、全教職員が同じ方向を向いて研修に取り組むことが、一体感の向上に寄与することが示されました。

●研修を通して情報交換を促進する

講義型の研修ばかりでなく、グループワークや対話の場面を増やすことが有効です。「他の先生と話したい!」という意欲を高める工夫をしていきましょう。

●教職員が協働する場面を増やす

教職員同士が協力して活動する場面を設けることで、教科や分掌を超えた交流の増加につながります。報告会などを開いて研修の成果を共有することも効果的です。学校全体で研修に取り組んでいるという実感が、協働意欲を高めてくれます。

本研究の詳細はホームページの「研究・調査」にある「長期研修員の研究」をご覧ください。

静岡県総合教育センター

【総合教育センター】



11月は 家庭教育は子どもを伸ばす栄養です!

「家庭教育を考える強調月間」

近年、家庭の教育力の低下が叫ばれ、子育てに関する悩みや不安を持つ保護者が増加しています。子どもたちの健全な成長のために、保護者が安心して家庭教育を行えるよう、社会全体で家庭教育を支援することが必要です。

県では、県民が家庭教育の役割やその重要性を見つめ直す機会として、毎年11月を「家庭教育を考える強調月間」と定め、家族が一緒に過ごす「家庭の日」を設けることを呼びかけています。

子どもたちや保護者が、家庭教育の基本となる「家族のコミュニケーション」を深める良いきっかけとしてはいかがでしょうか。

「家庭の日」は、いつですか?

「家庭の日」は、家族が一緒に過ごし、コミュニケーションを深めるための日です。

県では、各家庭が実情に応じて、月に一度は「家庭の日」を設けることを推奨しています。それぞれの家庭に合った過ごし方を楽しみましょう。

「家庭の日」のポスター▶▶▶



「家庭教育」とは…?

保護者が子どもに対して行う教育のことで、全ての教育の出発点と言えます。家族の触れ合いを通して、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感や思いやり、豊かな情操、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。

ホームページ

静岡県家庭教育支援情報サイト
「つながるネット」

TEL: 054-221-3115(社会教育課)



【社会教育課】

令和5年度 第30回記念大会 静岡県図書館大会

どなたでも
参加OK!

図書館大会は、図書館や読書に興味を持つ方々が研修・交流するイベントです。齋藤 孝氏による特別講演と多彩な講師陣による分科会があります。

日 時	11月13日(月) 10:25~15:45
場 所	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ (静岡市駿河区東静岡2丁目3-1 JR東静岡駅隣接)
日 程	開 会 式 10:25~10:55 特別講演 11:10~12:30 「読書が生み出す力・導く力」 講師 齋藤 孝氏(明治大学文学部教授) 各分科会 13:45~15:45
参 加 費	無 料
申 込 方 法	ふじのくに電子申請サービス ★先着順、申込締切10月20日(金)
問 い 合 せ	静岡県立中央図書館 (静岡県図書館協会事務局) 電話: 054-262-1246
	大会詳細と お申し込みは こちら▶▶▶

【中央図書館】

《食育?環境問題?》 『食品ロス』を減らす 取り組み大募集!

食品ロスは、誰にとっても身近な問題です。食品ロスを減らすために何ができるのか、考えるきっかけにしてみませんか。応募いただいた内容は県HPなどで紹介します!

食品ロス削減
キャンペーン

●食品ロスとは
まだ食べられるのに捨てられる食品のこと。
SDGsでも削減のための目標が設定されています。

食品ロスについて
みんなで考えてみませんか

応募内容	食品ロスを減らす取り組み、アイデア
募集期間	10月1日(日)から11月30日(木)まで
応募方法	はがき、電子申請、SNS(Instagram、X(旧Twitter))

こんな御応募お待ちしております!

給食を残さないための
うちのクラスの工夫!

エコな調理実習
を行いました

クラス単位でも、個人でもOK!

ホームページ

キャンペーンの詳細はこちら
をご覧ください。

食品ロス削減
出前講座の教材も掲載して
います。

【廃棄物リサイクル課】

ふじのくに民俗芸能 フェスティバルを開催します!

国指定重要無形民俗文化財に指定された、沼田の湯立神楽・大坂の湯立神楽のほか、県指定無形民俗文化財の三島囃子、戸田の漁師踊・漁師唄、小稲の虎舞が上演されます!

日時 11月19日(日)
13:00~16:00

会場 三島市民文化会館
ゆうゆうホール

定員 700人

詳しくは、
HPでご確認ください!▶▶▶

・入場無料
・要事前申込
・先着順



【文化財課】

ふじのくに 海外留学\応援/フェア2023 Studying Abroad Makes Your Future Brilliant

各国大使館等から、留学に関する具体的な情報を直接聞けるチャンス!
今年度は2回に拡大して開催!

申込不要・参加無料
対象:高校生、大学生向け
※どなたでも参加いただけます。



日時	10月21日(土) 10:00~15:00	ふじのくに実学 チャレンジフェスタと同時開催!
会場	ツインメッセ静岡 南館大展示場	
内容	個別相談・留学経験者との交流 10:00~15:00	
参加機関	大使館等 カナダ/韓国 留学関係機関 トビタテ!留学JAPAN事務局、(一社)日本ワーキング・ホリデー協会、(公社)日本国際生活体験協会(EIL)、(公財)AFS日本協会 備考 ※AFSはオンライン参加 ※アメリカ、フランス、スペイン、ドイツ、(独)日本学生支援機構(JASSO)は資料配布のみ	

日時	11月23日(祝) 10:30~16:00	ヒガナンフェスティバル 「あつまれ!学びと文化のまちに」 と同時開催!
会場	グランシップ 大ホール・海(1・3階)	
内容	ミニセミナー(各20分) ①11:00~ JASSO、トビタテ! ②11:30~ 英国 ③12:00~ フィリピン ④12:30~ AFS ⑤13:00~ アメリカ ⑥13:30~ カナダ ⑦14:00~ フランス ⑧14:30~ EIL ⑨15:00~ ワーホリ ⑩15:30~ ドイツ	個別相談・留学経験者との交流 10:30~16:00 (アメリカ 11:00~16:00 中国 11:00~15:00 台湾 12:00~16:00)
参加機関	大使館等 アメリカ/フィリピン/台湾/中国/フランス/カナダ/ドイツ/英国 留学関係機関 (独)日本学生支援機構(JASSO)、トビタテ!留学JAPAN事務局、(公社)日本国際生活体験協会(EIL)、(一社)日本ワーキング・ホリデー協会、(公財)AFS日本協会 備考 ※英国、AFS、カナダ、ドイツはオンライン参加	

【大学課】TEL 054-221-3749 【教育政策課】TEL 054-221-3674

静岡県委託 令和5年度 介護サポーター育成事業「介護に関する入門的研修」のご案内 **参加無料** 広告

あなたの好きなこと、できることを活かして働いてみませんか?

介護の周辺業務が学べる3日間の研修です。希望者には、介護の周辺業務のお仕事をご紹介します!

まずは説明会にご参加ください
(要予約)

9/6(水)・12(火) 10:30~
開国下田みなと 会議室1
下田市外ヶ岡1-1
※都合のつかない方も、個別に対応させていただきます。

10/25(水)・27(金) 14:30~
浜北文化センター 第5会議室
浜松市浜北区貴布祿291-1

1/19(金)・23(火) 10:30~
シグマカレッジ静岡校
静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F

■研修日程■
3日間・9:30~17:30

10/2(月)・10(火)・17(火)
開国下田みなと 会議室1
下田市外ヶ岡1-1

11/21(火)・28(火)・12/5(火)
浜北文化センター 第5会議室
浜松市浜北区貴布祿291-1

2/13(火)・21(水)・28(水)
シグマカレッジ静岡校
静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F

東海道シグマ 運営:株式会社東海道シグマ 地域福祉支援事業部
〒420-0857 静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F

お申込みはお電話・Webサイトにて受付中
TEL 054-255-4259 受付:平日9:30~17:30

東海道シグマ介護

週1日・1時間
からできる
お仕事です。